

リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）

リスクアセスメント対象職場	1～3の実施担当者の実施日	4～6の実施担当者の実施日	7～8の実施担当者の実施日
移動式クレーンを使用したトラック荷積み・荷降ろし作業	〇〇 一朗 H18年〇月I日	△△ 二郎 H18年〇月II日	□□ 昭次 H18年〇月I日

支店長	部長	課長	担当
(印)	(印)	(印)	(印)

1. 作業名 (機械/設備)	2. 危険性又は有害性と 発生のおそれのある災害(※)	3. 既存の災害防止対策		4. リスクの見積り		5. リスク低減対策案		6. 措置後のリスクの見積り		7. 対応措置		8. 備考
		重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	対策実施日	次年度検討事項	
1. 作業名 (機械/設備) 移動式クレーンを使用したトラック荷積み・荷降ろし作業	2. 危険性又は有害性と 発生のおそれのある災害(※) 定格荷重を超えた玉掛けを行った為、クレーンが転倒し、作業者がクレーンの下敷きになる。	×	△	×	△	×	△	×	△	H19 */*	過重警報装置を取り付ける。	
	軟弱な地盤にクレーンを設置した為、クレーンが転倒し、作業者がクレーンの下敷きになる。	×	×	×	×	×	×	○	○	H19 */*	鉄板を敷く。	
重畳物玉掛け 作業	クレーン運転室に上る時、足を滑らせて転落する危険がある。	×	△	×	△	×	△	×	○	H19 */*	握りやすい手すりを設置する。	
	荷台上で吊り荷が振れて、積荷の間に挟まれ転倒の危険がある。	×	△	×	△	×	△	△	○	H19 */*	振れ止めロープを使用する。	
搬入トラックに対する 積み込み降ろし作業	昇降設備を使わずに荷台に昇降するとき、足を踏み外したり、滑らせたりして、転倒する危険がある。	×	△	×	△	×	△	×	○	H19 */*	作業台を使用する。	
	荷台上で荷張り作業中、身体のパランスを崩して転落する危険がある。	×	○	×	○	×	○	×	○	H19 */*	荷張り作業標準を作成し、作業を荷台下で行う。	
	クレーンで製品を吊り上げ旋回中、製品がトラック上の作業者に接触し、荷台から転落する。	×	△	×	△	×	△	×	○	H19 */*	地切り30cmとともに作業台と介錯ロープで振れのないうことを確認し、吊り上げる。	
	吊り荷の固縛不備のため、吊り荷の一部が抜け落ち、作業者に激突する。	×	△	×	△	×	△	×	○	H19 */*	地切り30cm介錯ロープで固縛を確認	
	クレーン旋回範囲への、立入り禁止措置をしていなかったため、カウンタウエイの旋回時に歩行者に激突する。	×	△	×	△	×	△	×	○	H19 */*	ポストコーンおよびトラロープにより立ち入り禁止措置の実施。監視人を配置する。	

凡例：●災害の重篤度 ×＝致命的・重大 △＝中程度 ○＝軽度 ●発生可能性 ×＝頻繁・可能性が高いか比較的高い △＝時々・可能性がある ○＝ほとんどない・可能性がほとんどない
●優先度 Ⅲ＝直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。Ⅱ＝速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。Ⅰ＝必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。
※(災害に至る過程として「～」なので、～して「～」+「～になる」と記述します)